様式３(2020.08改)

作成日　令和　3　年　5　月　15　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390400238
事業所名	グループホーム　たのしい家 栄生

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域のつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板で地域の情報を得ている。コロナ禍により、現状では地域の行事の多くが中止になり、運営推進会議も開催されず、オープンカフェも中止となっている。会社の方針で厳重な外出規制により地域交流は希薄となっている。管理者の交代から5か月が経過しているが、地域への挨拶回りはまだ実施していない。コロナ禍が落ち着き環境が整えば地域交流を再開させる意向である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議は、例年では同事業所の小規模多機能事業所とグループホーム、近隣の同系列のグループホームの3事業所合同で、2か月に1回開催しているが、今年度はコロナ禍の為中止している。書面での開催も行っていない。	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	コロナ禍により、役所に直接出向くことは少なく、FAXやメールでの連絡や情報交換が多くなっている。状況に応じて電話で事業所の実情やサービスの取り組みを伝え協力関係を築くよう努めている。また、介護認定の書類や申請代行等については郵送に切り替えている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、意見や要望などは申し送りノートに記録して、職員間で情報を共有し運営に反映させている。コロナ禍の為、会社の方針で家族の面会は中止となっているため、現状では電話や手紙等で意見や要望を聞いている。ホーム便りは作成していない。ご意見箱を設置している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【備考欄】

コロナ禍で面会や外出規制、地域行事の中止等があり地域交流も希薄となっている。更に管理者が変わり5か月が経過するが、地域への挨拶回りが実施されておらず、管理者としての周知や繋がりが出来ていない。運営推進会議も開催されておらず改善点が山積みであるが、入居者が楽しみや喜びを感じ、季節を感じながら笑顔で過ごせる日々を提供したいと職員全員で努力している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） 例に関する指導を受けた。変更事項などの ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×										